

8/27

延期

台風10号による影響が懸念されたため
開催日、会場にGIFUについては、後日、決定し次第発表済み

GIFU

岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年8月9日(金)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
環境生活政策課	生物多様性企画監	江崎	内線2920 直通058-272-8231 FAX 058-278-2605

シンポジウム「人とクマ、その距離を考える」を開催します (参加者募集)

県と岐阜県野生動物管理推進センターの共催でクマをテーマにしたシンポジウムを開催します。

このシンポジウムは、昨年、全国的にクマによる人身被害が多かったことを受けて、今後、構築すべき社会体制や身近なクマ対策について、多くの方に学び、考えていただくために開催するものです。広く、県民の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 日時 令和6年8月28日(水) 13:00~16:30
- 会場 岐阜大学講堂(岐阜市柳戸1-1)
- 講演内容 「増え続けるクマにどのように立ち向かうか？」
よこやま まゆみ
 横山 真弓 氏(兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授)
 「ツキノワグマの生態を学ぼう」
もり ともき
 森 智基 氏(岐阜大学応用生物科学部 特任助教)
 (岐阜県野生動物管理推進センター 特任助教)
 「クマの対策～クマとの付き合い方～」
はしもと みさお
 橋本 操 氏(岐阜大学教育学部 准教授)
- 定員 200名(先着順)
- 受講料 無料
- 申込方法 右の2次元コードからお申込み下さい。
- 申込締切 令和6年8月26日(月) 18:00
- 問合せ先 環境生活政策課生物多様性係(電話:058-272-8231)



【講師紹介】

横山 真弓 氏

東京農工大学修士課程修了。博士（北海道大学）。専門は野生動物管理学。主に人と軋轢の多いツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシを対象に行動特性や栄養状態に関する研究が専門。兵庫県森林動物研究センターの創設に関わり、行政職を兼務した経験もある。クマ類の市街地出没対応に係る「鳥獣保護管理法第 38 条に関する検討会（環境省）」にも委員として参加した。主な著者に「動物たちの反乱」（PHP 出版）、「実践野生動物管理学」（培風館）などがある。

森 智基 氏

博士（農学）、専門は動物生態学。学部・修士では岐阜県大野郡白川村においてツキノワグマの食性や行動生態、密度推定、集落への出没要因について研究を実施した。博士課程では長野県上伊那において、GPS 発信機を用いることでツキノワグマの集落での利用形態に関する研究を行った。現在は、岐阜県と長野県をフィールドに、ツキノワグマを中心とした大型哺乳類の生態や管理に関する調査に取り組んでいる。

橋本 操 氏

博士（理学）、専門は地理学。学部では、北海道で駆除されたヒグマの胃内容物分析と利用環境との関係、修士では、北海道日高地域でヒグマの集落への誘引要因について研究した。博士では、長野県でツキノワグマなどによる獣害とその発生要因について研究した。現在も長野県で、ツキノワグマ等の大型哺乳類を中心に、地域住民の獣害対策や、獣害や野生動物に対する地域住民の意識、狩猟などの山間の生活文化などについて研究している。

【岐阜県野生動物管理推進センターの概要】

1 開設日

令和 4 年 4 月 1 日

2 開設場所

岐阜大学構内

3 目的

県及び岐阜大学が共同で野生動物の管理を推進するためのシンクタンク組織を設置することにより、生物多様性の保全の観点から野生動物による被害への対策を強化し、もって地域課題の解決と豊かな地域社会の創出に貢献することを目的とする。

4 体制

